

第28回 MR 認定試験 2021年12月

疾 病 と 治 療

試験時間 120分 (14:20~16:20)

試験問題数 110問 (五肢択一 110問)

- ◎ 指示があるまで問題冊子を開けてはいけません。
- ◎ 問題冊子は全部で28頁ありますので、落丁・乱丁の有無を頁数で確認してください。

[注意事項]

1. 解答方法：

1) 解答は○の中全体をHB又はBの鉛筆で濃くぬりつぶすこと。

良い例 悪い例 (採点されません。)



2) 答えを修正した場合は必ず「消ゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆あとが残ったり「~~●~~」のような消し方などをした場合は、修正又は解答したことにならないので注意すること。

3) 1問に2つ以上の●があると採点されない。

2. 答案用紙は折り曲げたり、汚したりしないよう特に注意のこと。

3. 問題の内容については、質問しないこと。

4. この問題冊子は、試験時間中 (16時20分まで) の持ち出しはできない。

5. この問題冊子の一部を破って解答等を写して持ち帰ることはできない。

正しい番号を1つ選択せよ。

問1 人体の位置の表示で、誤りはどれか。

- 1 上を頭側という。
- 2 下を尾側という。
- 3 前を腹側という。
- 4 後を背側という。
- 5 正中から遠い側を内側という。

問2 誤りはどれか。

- 1 精子と卵子が融合して受精卵を形成する。
- 2 遺伝情報を次世代に伝える細胞を生殖細胞という。
- 3 細胞核には遺伝情報を含む染色体がある。
- 4 両親から半分ずつの遺伝情報を受け1個の体細胞になる。
- 5 ヒトの体細胞の染色体は44本である。

問3 組み合わせで、誤りはどれか。

- 1 単糖類 ————— ブドウ糖
- 2 二糖類 ————— 果糖
- 3 多糖類 ————— デンプン
- 4 脂質 ————— 中性脂肪
- 5 タンパク質 ———— コラーゲン

問4 排尿障害の原因として、誤りはどれか。

- 1 膀胱炎
- 2 前立腺萎縮
- 3 神経因性膀胱
- 4 切迫性尿失禁
- 5 腹圧性尿失禁

問5 ()に入れる適切な数字はどれか。

成人体重の約 () %は水分で構成されている。

- 1 20
- 2 30
- 3 40
- 4 60
- 5 80

問6 胸痛の原因で正しいのはどれか。

- a 胆石
- b 痛風
- c 虫垂炎
- d 気胸
- e 狭心症

- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問7 組み合わせで誤りはどれか。

- 1 息切れ —— 心不全
- 2 むくみ —— 高タンパク血症
- 3 下痢 —— 感染性腸炎
- 4 腹痛 —— イレウス
- 5 頭痛 —— 眼精疲労

問8 神経組織について、正しいのはどれか。

- 1 神経膠細胞は、情報伝達を行う神経組織である。
- 2 軸索はほかの神経細胞から情報を受け取るアンテナである。
- 3 無髄神経線維の電氣的興奮は跳躍伝導する。
- 4 神経終末と次のニューロンとのすき間をシナプス間隙という。
- 5 シナプス小胞からカルシウムイオンが放出される。

問9 中枢神経系の機能について、正しい組み合わせはどれか。

- 1 脊髄 ————— 姿勢保持
- 2 大脳新皮質 —— 高次機能
- 3 大脳基底核 —— 情動
- 4 視床 ————— 自律神経の中枢
- 5 脳幹 ————— 本能

問10 脳の血管系について、正しいのはどれか。

- 1 左右内頸動脈は、大後頭孔から頭蓋内に入る。
- 2 ウィリス動脈輪は、分岐部に動脈瘤を生じやすい。
- 3 脳動脈は、クモ膜下腔には入らない。
- 4 皮質枝は、脳深部に分布する。
- 5 血液脳関門は、脳実質と脳静脈との間にある。

問11 脊髄について、正しいのはどれか。

- 1 成人の脊髄は、ほぼ第1腰椎の高さで終わる。
- 2 脊髄白質の横断面は、H字型を示す。
- 3 脊髄白質は、前角と後角に大別される。
- 4 脊髄灰白質中には伝導路が走る。
- 5 反射中枢から運動指令を送るニューロンを求心路という。

問12 うつ病の治療について、正しいのはどれか。

- a 中等症では薬物療法が第一選択となる。
 - b 第一選択薬には、選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）がある。
 - c 症状が軽快した場合は速やかに減薬・中止を行う。
 - d 中等症および重症では精神療法の併用は行わない。
 - e 初発のうつ病では再発は稀である。
- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問13 脳血管障害の症状として、正しい組み合わせはどれか。

- 1 大脳半球障害 —— 失語
- 2 大脳皮質障害 —— 半盲
- 3 脳幹障害 ————— 運動失調
- 4 皮質下小梗塞 —— 意識障害
- 5 視床出血 ————— ケルニツヒ徴候

問14 アルツハイマー型認知症で、正しいのはどれか。

- a 脳血管性認知症に次いで多い。
 - b 固縮が見られる。
 - c 感情の制御が難しくなる。
 - d 海馬の萎縮が特徴である。
 - e アセチルコリンエステラーゼ阻害薬を投与する。
- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問15 脳梗塞急性期の治療について、正しいのはどれか。

- a 収縮期血圧を140mmHg未満に降圧する。
 - b 抗菌薬の予防投与
 - c リハビリテーション
 - d アスピリン投与
 - e 抗凝固療法
- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問16 疾病について、正しい組み合わせはどれか。

- a 脳卒中後遺症 ————— うつ状態
 - b パーキンソン病 ————— REM睡眠期行動異常症
 - c クモ膜下出血 —— 眼振
 - d レビー小体型認知症 —— 幻聴
 - e 全般てんかん ————— 前兆のある発作
- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問17 血流や血圧の調節に関与する筋性動脈はどれか。

- 1 大動脈
- 2 冠動脈
- 3 中～細動脈
- 4 深在性静脈
- 5 毛細血管

問18 静脈還流の原動力として、誤りはどれか。

- 1 筋ポンプ
- 2 心臓ポンプ
- 3 血圧勾配
- 4 呼吸ポンプ
- 5 門脈圧

問19 血圧降下作用を有するのはどれか。

- 1 アンジオテンシンⅡ
- 2 エンドセリン
- 3 バソプレシン
- 4 トロンボキサン A_2
- 5 ヒスタミン

問20 腎臓のナトリウム再吸収を促進するのはどれか。

- 1 アルドステロン
- 2 血圧上昇
- 3 ヒスタミン
- 4 トロンボキサン A_2
- 5 脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)

問21 交感神経の作用について、正しい組み合わせはどれか。

- 1 心拍数 ————— 減少
- 2 心収縮力 ————— 低下
- 3 房室結節伝導時間 ——— 短縮
- 4 心臓の電氣的興奮性 —— 低下
- 5 血圧 ————— 低下

問22 右心不全で正しいのはどれか。

- 1 呼吸困難
- 2 息切れ
- 3 起座呼吸
- 4 喘鳴
- 5 食思不振

問23 () に入るのはどれか。

左室駆出率 (LVEF) の保持された心不全の原因で、最も頻度が高いのは () による左室肥大である。

- 1 高血圧症
- 2 拡張型心筋症
- 3 心筋梗塞
- 4 僧帽弁狭窄症
- 5 大動脈弁閉鎖不全症

問24 不安定狭心症患者の検査で、禁忌はどれか。

- 1 24時間心電図
- 2 心臓超音波検査
- 3 冠動脈造影
- 4 冠動脈CT検査
- 5 運動負荷心電図

問25 労作性狭心症の第一選択薬はどれか。

- 1 β 遮断薬
- 2 硝酸薬
- 3 カルシウム拮抗薬
- 4 アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬
- 5 HMG-CoA還元酵素阻害薬

問26 ボーン・ウィリアムズによる抗不整脈薬分類でクラスⅢ群薬はどれか。

- 1 ジソピラミド
- 2 ピルシカイニド塩酸塩
- 3 アテノロール
- 4 アミオダロン塩酸塩
- 5 ジルチアゼム塩酸塩

問27 自動体外式除細動器（AED）が有効なのはどれか。

- 1 心静止
- 2 心室細動
- 3 上室頻拍
- 4 完全房室ブロック
- 5 心房細動

問28 心筋梗塞後の低心機能患者に投与しないのはどれか。

- 1 β 遮断薬
- 2 フレカイニド塩酸塩
- 3 アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）
- 4 アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬
- 5 アミオダロン塩酸塩

問29 肺実質を構成するのはどれか。

- 1 肺胞
- 2 肺毛細血管
- 3 結合組織
- 4 終末細気管支
- 5 肺胞中隔

問30 呼吸調節中枢はどこにあるか。

- 1 大脳基底核
- 2 小脳半球
- 3 橋
- 4 下垂体
- 5 胸部脊髄

問31 感染防御システムに含まれないのはどれか。

- 1 咳嗽反射
- 2 肺サーファクタント
- 3 マクロファージ
- 4 T細胞
- 5 好酸球

問32 急性肺血栓塞栓症のリスクはどれか。

- 1 悪性腫瘍
- 2 高い身体活動
- 3 プロゲステロン内服
- 4 食塩の過剰摂取
- 5 高コレステロール食

問33 わが国で、肺高血圧症に用いることができる特異的治療薬はどれか。

- 1 抗アレルギー薬
- 2 抗コリン薬
- 3 副腎皮質ステロイド薬
- 4 免疫チェックポイント阻害薬
- 5 プロスタサイクリン

問34 気管支喘息の急性発作治療薬として、誤りはどれか。

- 1 副腎皮質ステロイド
- 2 テオフィリン
- 3 アドレナリン
- 4 短時間作用性 β_2 刺激薬
- 5 ロイコトリエン受容体拮抗薬

問35 COPDの重症度を判断するBODE indexに含まれないのはどれか。

- 1 体重減少
- 2 1秒量の低下
- 3 呼吸困難の増強
- 4 6分間歩行距離の短縮
- 5 喫煙開始年齢の早さ

問36 最も肛門側にあるのはどれか。

- 1 S状結腸
- 2 上行結腸
- 3 横行結腸
- 4 下行結腸
- 5 盲腸

問37 消化管壁で、内腔から最も外側にあるのはどれか。

- 1 粘膜固有層
- 2 粘膜筋板
- 3 粘膜下層
- 4 漿膜
- 5 筋層

問38 腸肝循環するのはどれか。

- 1 胆汁酸
- 2 リン脂質
- 3 アミラーゼ
- 4 ビリルビン
- 5 コレステロール

問39 脂肪を脂肪酸とグリセリンに分解するのはどれか。

- 1 アミラーゼ
- 2 リパーゼ
- 3 トリプシン
- 4 ビリルビン
- 5 アルブミン

問40 消化性潰瘍について、誤りはどれか。

- 1 好発年齢は60～70代である。
- 2 患者数は減少が続いている。
- 3 十二指腸潰瘍は空腹時に痛む。
- 4 出血時は外科手術を行う。
- 5 NSAIDsの継続が必要な場合はPPIを用いる。

問41 標準的治療として、副腎皮質ステロイド薬を用いるのはどれか。

- 1 急性A型肝炎
- 2 急性B型肝炎
- 3 自己免疫性肝炎
- 4 薬物性肝障害
- 5 アルコール性肝障害

問42 ()に入るのはどれか。

大酒家とは、エタノール1日平均日本酒換算()以上の飲酒者である。

- 1 1合
- 2 3合
- 3 5合
- 4 1升
- 5 2升

問43 B型肝炎硬変の肝細胞がん発生率(年率)はどれか。

- 1 0.1%
- 2 1%
- 3 3%
- 4 15%
- 5 30%

問44 夜間咳嗽の原因になるのはどれか。

- 1 胃炎
- 2 胃潰瘍
- 3 胆石症
- 4 慢性膵炎
- 5 胃食道逆流症

問45 高トリグリセライド血症が原因で生じるのはどれか。

- 1 胃炎
- 2 胃潰瘍
- 3 急性膵炎
- 4 胃食道逆流症
- 5 過敏性腸症候群

問46 女性の急性膵炎の原因で、最も多いのはどれか。

- 1 胆石
- 2 遺伝
- 3 アルコール
- 4 ヘリコバクター・ピロリ
- 5 NSAIDs

問47 クロウン病について、正しいのはどれか。

- 1 女性に多い。
- 2 高齢者に多い。
- 3 大腸に限局する。
- 4 連続性病変である。
- 5 粘膜の深層まで炎症が起きる。

問48 過敏性腸症候群について、見られないのはどれか。

- 1 下痢
- 2 便秘
- 3 腹痛
- 4 血便
- 5 腹部膨満感

問49 カルシトニンの作用について、正しいのはどれか。

- 1 骨吸収を抑制する。
- 2 副甲状腺から分泌される。
- 3 血液中リン濃度を上昇させる。
- 4 腎臓からのカルシウム排泄を抑制する。
- 5 血液中カルシウムイオン濃度を上昇させる。

問50 VASで「これまでで最も具合の悪い」の値はどれか。

- 1 0
- 2 1
- 3 10
- 4 100
- 5 1000

問51 DAS 2.8の評価に含まれない関節はどれか。

- 1 足関節
- 2 肘関節
- 3 肩関節
- 4 膝関節
- 5 手首関節

問52 続発性骨粗鬆症の原因でないのはどれか。

- 1 肥満
- 2 胃切除
- 3 長期臥床
- 4 アルコール多飲
- 5 甲状腺機能亢進症

問53 骨粗鬆症の薬物治療に最も有用なビタミンはどれか。

- 1 A
- 2 B₁
- 3 B₂
- 4 C
- 5 K₂

問54 変形性関節症の発症が最も多いのはどれか。

- 1 肘関節
- 2 肩関節
- 3 膝関節
- 4 手首関節
- 5 中手指節間関節

問55 間欠性跛行が発症するのはどれか。

- 1 腰部脊柱管狭窄症
- 2 腰部椎間板ヘルニア
- 3 変形性関節症
- 4 筋ジストロフィー
- 5 重症筋無力症

問56 正しいのはどれか。

- 1 尿路は、尿管と尿道の2つから構成される。
- 2 尿管の長さは2.5 cmほどである。
- 3 排尿時、尿道括約筋は収縮する。
- 4 新生児では、大脳からの排尿抑制が発達している。
- 5 膀胱壁の筋は、副交感神経によって弛緩する。

問57 正しいのはどれか。

- 1 腎皮質は、腎小体と集合管で構成される。
- 2 1日に2Lの原尿が生成される。
- 3 糸球体傍装置は、血圧の調節に働く。
- 4 遠位尿細管は、レニンを分泌する。
- 5 近位尿細管は、腎皮質でヘンレループを形成する。

問58 正しいのはどれか。

- 1 FSHは、テストステロンを分泌させる。
- 2 LHは、精子の分化・成熟を促す。
- 3 GnRHは、下垂体前葉から分泌される。
- 4 精巣では、血液精巣関門を形成している。
- 5 精巣は、外分泌器官である。

問59 正しいのはどれか。

- 1 排卵は、一過性のFSHの分泌増大によって生じる。
- 2 妊娠が起こると、黄体は白体に置き換わる。
- 3 黄体期の体温は、卵胞期に比べて0.5℃ほど低くなる。
- 4 原始卵胞は、LHの作用で成熟卵胞となる。
- 5 プロゲステロンには体温上昇作用がある。

問60 CKDの発症や進展因子の中で不可逆的な因子はどれか。

- 1 高血圧
- 2 糖尿病
- 3 喫煙
- 4 膠原病
- 5 加齢

問61 尿路結石について、正しいのはどれか。

- 1 膀胱結石は、激的な痛みで発症する。
- 2 上部尿路結石は、前立腺肥大症や神経因性膀胱に起因することが多い。
- 3 長径5 mm以下の結石では絶飲する。
- 4 尿酸結石ではクエン酸製剤を内服する。
- 5 繰り返す疝痛発作を合併している症例ではESWLは行わない。

問62 勃起障害の危険因子として、誤りはどれか。

- 1 うつ症状
- 2 低血圧
- 3 糖尿病
- 4 肥満
- 5 運動不足

問63 更年期障害について、誤りはどれか。

- 1 更年期とは閉経の前後各5年間をいう。
- 2 主たる原因は、エストロゲン分泌減少である。
- 3 FSH値は、低下する。
- 4 子宮内膜増殖症発症予防にプロゲステロンを使用する。
- 5 発症には身体的要因、心理的要因、社会的要因が関連する。

問64 代謝について、正しいのはどれか。

- 1 タンパク質は体内に貯蔵できない。
- 2 解糖系は酸素を消費して、エネルギーを生成する。
- 3 ケトン体の大量出現は、血液pHの上昇をきたす。
- 4 HDLは動脈壁に浸透しやすい。
- 5 LDLは動脈壁から過剰なコレステロールを回収する。

問65 甲状腺から分泌されるホルモンはどれか。

- 1 アンドロゲン
- 2 エストロゲン
- 3 オキシトシン
- 4 カルシトニン
- 5 プロラクチン

問66 ソマトスタチンを分泌する器官はどれか。

- 1 精巣
- 2 膵島
- 3 腎臓
- 4 副腎皮質
- 5 下垂体後葉

問67 誤りはどれか。

- 1 バソプレシンは、血圧上昇作用がある。
- 2 プロラクチンは、乳汁生成を促進する。
- 3 オキシトシンは、子宮平滑筋の弛緩作用がある。
- 4 卵胞刺激ホルモンは、男性では精子形成を促進する。
- 5 黄体形成ホルモンは、男性ではアンドロゲン分泌を促す。

問68 正しい組み合わせはどれか。

合併症予防のための観点から、HbA1cの目標値（A）未満、空腹時血糖の目標値（B）未満を目安とする。（糖尿病治療ガイド2020-2021）

- | | A | | B |
|---|------|----|-----------|
| 1 | 6.0% | —— | 110 mg/dL |
| 2 | 6.5% | —— | 120 mg/dL |
| 3 | 7.0% | —— | 130 mg/dL |
| 4 | 7.5% | —— | 140 mg/dL |
| 5 | 8.0% | —— | 150 mg/dL |

問69 血糖依存性インスリン分泌促進とグルカゴン分泌抑制作用がある薬剤はどれか。

- 1 グリニド薬
- 2 DPP-4阻害薬
- 3 SGLT2阻害薬
- 4 スルホニル尿素薬
- 5 α -グルコシダーゼ阻害薬

問70 2型糖尿病について、正しいのはどれか。(糖尿病治療ガイド2020-2021)

- 1 若年発症者は希である。
- 2 慢性合併症の脳血管障害は、細小血管症の一つである。
- 3 肥満を伴う場合は、標準体重まで減量する。
- 4 空腹時血糖値の正常高値とは100～109mg/dLをいう。
- 5 膵 β 細胞が破壊され絶対的なインスリン欠乏状態に陥ることにより発症する。

問71 正しい組み合わせはどれか。

- 1 2型糖尿病 ————— MTP阻害薬
- 2 高LDLコレステロール血症 —— HMG-CoA還元酵素阻害薬
- 3 高TG血症 ————— PCSK9阻害薬
- 4 高尿酸血症 ————— ビグアナイド薬
- 5 甲状腺機能低下症 ————— チアマゾール

問72 尿酸排泄促進薬はどれか。

- 1 コルヒチン
- 2 クエン酸製剤
- 3 アロプリノール
- 4 プロベネシド
- 5 フェブキソスタット

問73 バセドウ病の臨床所見として、誤りはどれか。

- 1 頻脈
- 2 体重増加
- 3 手指振戦
- 4 眼球突出
- 5 発汗増加

問74 フィブラート系薬剤と併用すると横紋筋融解症を合併する頻度が高まる薬剤はどれか。

- 1 MTP阻害薬
- 2 ニコチン酸誘導体
- 3 陰イオン交換樹脂
- 4 HMG-CoA還元酵素阻害薬
- 5 エイコサペンタエン酸（EPA）製剤

問75 正しい組み合わせはどれか。

- 1 褐色細胞腫 ————— カテコールアミン低値
- 2 アジソン病 ————— アルドステロン高値
- 3 クッシング病 ————— ACTH分泌低下
- 4 ADH分泌異常症 ———— アルドステロン過剰分泌
- 5 副甲状腺機能亢進症 ——— 高カルシウム血症

問76 免疫・アレルギー系検査でないのはどれか。

- 1 血中好酸球数
- 2 血清IgE抗体
- 3 ヒスタミン遊離試験
- 4 ヘマトクリット値
- 5 皮膚テスト

問77 再生不良性貧血について、誤りはどれか。

- 1 先天性と後天性がある。
- 2 好中球数の増加がみられる。
- 3 皮下出血斑がみられる。
- 4 鼻出血がみられる。
- 5 骨髄MR Iで骨髄の脂肪化がみられる。

問78 疾患と治療の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 血友病A ————— 第Ⅸ因子製剤投与
- 2 鉄欠乏性貧血 ————— ピロリ除菌療法
- 3 特発性血小板減少性紫斑病 ——— G-CSF投与
- 4 再生不良性貧血 ————— ビタミンB₁₂の補充
- 5 播種性血管内凝固症候群 ——— トロンボモジュリン製剤投与

問79 正しい組み合わせはどれか。

- 1 巨赤芽球性貧血 ————— ビタミンB₆欠乏
- 2 顆粒球減少症 ————— リンパ球数低下
- 3 腎性貧血 ————— エリスロポエチン増加
- 4 播種性血管内凝固症候群 ——— 血小板数増加
- 5 白血病 ————— 造血幹細胞の腫瘍化

問80 免疫抑制薬を使用しないのはどれか。

- a 血友病
 - b 鉄欠乏性貧血
 - c 特発性血小板減少性紫斑病
 - d 再生不良性貧血
 - e 溶血性貧血
- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問81 I型アレルギーはどれか。

- a 花粉症
- b 蕁麻疹
- c バセドウ病
- d 関節リウマチ
- e 糸球体腎炎

1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問82 皮膚の構造について、誤りはどれか。

- 1 表皮、真皮、皮下組織の3層から成る。
- 2 表皮には弾性線維が縦横に走っている。
- 3 表皮にはランゲルハンス細胞が存在する。
- 4 真皮には神経終末が分布している。
- 5 真皮にはヒアルロン酸が含まれる。

問83 ^{かんたい}杆体細胞を含むのはどれか。

- 1 網膜
- 2 角膜
- 3 脈絡膜
- 4 毛様体
- 5 強膜

問84 シュレム管が存在するのはどれか。

- 1 角膜
- 2 虹彩
- 3 ^{ぐうかく}隅角
- 4 水晶体
- 5 毛様体

問85 鼓膜と密着しているのはどれか。

- 1 アブミ骨
- 2 キヌタ骨
- 3 ツチ骨
- 4 前庭窓
- 5 蝸牛

問86 原発性緑内障の治療薬で、最も使用されるのはどれか。

- 1 α_2 刺激薬
- 2 R h oキナーゼ阻害薬
- 3 炭酸脱水素酵素阻害薬
- 4 プロスタノイドF P受容体作動薬
- 5 イオンチャンネル開口薬

問87 白内障について、誤りはどれか。

- 1 硝子体が混濁する。
- 2 70歳以上で80%以上の有病率である。
- 3 羞明感しゅうめいかんが出る。
- 4 視力低下が生じる。
- 5 細隙灯顕微鏡検査で診断する。さいげきとう

問88 アトピー性皮膚炎について、誤りはどれか。

- 1 皮膚バリア機能の低下がみられる。
- 2 有症率は加齢とともに減少する。
- 3 網膜剥離を合併することがある。
- 4 IgEの上昇がみられる。
- 5 抗ヒスタミン薬が第一選択である。

問89 空気感染するのはどれか。

- 1 百日咳菌
- 2 水痘ウイルス
- 3 髄膜炎菌
- 4 肺炎マイコプラズマ
- 5 インフルエンザウイルス

問90 経胎盤感染しない病原体はどれか。

- 1 風疹ウイルス
- 2 梅毒トレポネーマ
- 3 クラミジア
- 4 トキソプラズマ
- 5 サイトメガロウイルス

問91 生ワクチンはどれか。

- 1 Hibワクチン
- 2 HPVワクチン
- 3 B型肝炎ワクチン
- 4 髄膜炎菌ワクチン
- 5 MRワクチン

問92 グラム陽性菌はどれか。

- 1 腸球菌
- 2 髄膜炎菌
- 3 大腸菌
- 4 緑膿菌
- 5 肺炎桿菌

問93 細菌のDNA複製を阻害する抗菌薬はどれか。

- 1 キノロン系
- 2 テトラサイクリン系
- 3 セフェム系
- 4 カルバペネム系
- 5 グリコペプチド系

問94 抗streptolysin O抗体（ASO）が上昇する病原体はどれか。

- 1 黄色ブドウ球菌
- 2 肺炎球菌
- 3 A群β溶血性連鎖球菌
- 4 インフルエンザ菌
- 5 EBウイルス

問95 先進国の感染性腸炎で、最も頻度が高い病原体はどれか。

- 1 カンピロバクター
- 2 非チフス性サルモネラ
- 3 クロストリジウム・ディフィシル
- 4 ノロウイルス
- 5 ロタウイルス

問96 水痘について、正しいのはどれか。

- 1 潜伏期間は、1～2日である。
- 2 発疹出現前には感染力は無い。
- 3 成人では肺炎のリスクがある。
- 4 妊娠初期に罹患すると約20%の胎児に影響がある。
- 5 ワクチン接種すればウイルス曝露による発症は皆無である。

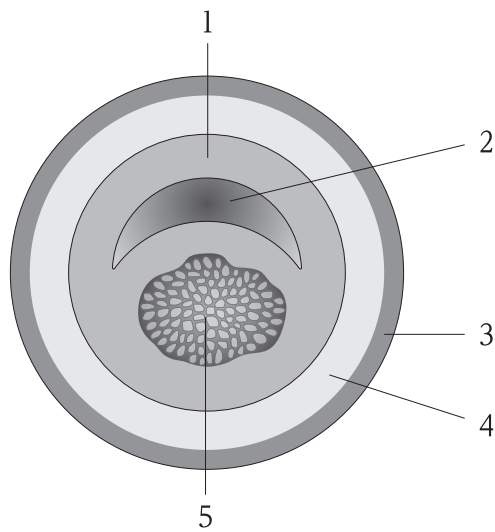
問97 帯状疱疹について、誤りはどれか。

- 1 VZV再感染で発症する。
- 2 好発年齢は50歳以降である。
- 3 皮疹出現前に疼痛が出現する。
- 4 疼痛が慢性化する。
- 5 予防ワクチンがある。

問98 成長の評価に用いられないのはどれか。

- 1 身長
- 2 体重
- 3 腹囲
- 4 骨年齢
- 5 歯の萌出

問99 アテローム動脈硬化の血管を示す。1～5でプラーク（粥腫）はどれか。



問100 サルコペニアについて、正しいのはどれか。

- a 筋肉量の減少
 - b 筋肉量の増加
 - c 骨密度の増加
 - d 運動機能の向上
 - e 運動機能の低下
- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c) 4 (c、d) 5 (d、e)

問101 パーキンソン病について、誤りはどれか。

- 1 進行性疾患である。
- 2 安静時に振戦がみられる。
- 3 筋固縮がみられる。
- 4 動作が俊敏になる。
- 5 姿勢保持が困難になる。

問102 高齢者について、誤りはどれか。

- 1 嚥下力が低下する。
- 2 胃から食道への逆流が増加する。
- 3 インスリンの分泌が低下する。
- 4 血中クレアチニン値が低下する。
- 5 エリスロポエチンの分泌が低下する。

問103 男女計の部位別がん死亡順位で、正しいのはどれか。(2019年)

- | | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | | | | |
|---|----|----|----|----|----|---|----|---|----|
| 1 | 肝臓 | — | 膵臓 | — | 胃 | — | 大腸 | — | 肺 |
| 2 | 肺 | — | 胃 | — | 大腸 | — | 膵臓 | — | 肝臓 |
| 3 | 肺 | — | 大腸 | — | 胃 | — | 肝臓 | — | 膵臓 |
| 4 | 大腸 | — | 肺 | — | 胃 | — | 膵臓 | — | 肝臓 |
| 5 | 肺 | — | 大腸 | — | 胃 | — | 膵臓 | — | 肝臓 |

問104 正しいのはどれか。

- 1 *p53* はがん遺伝子である。
- 2 がん化はアポトーシスによって起こる。
- 3 PD-1 と PD-L1 の結合によってがん免疫監視機構は強化する。
- 4 ネクローシスは受動的細胞死である。
- 5 イニシエーションだけで発がんに至る。

問105 誤りはどれか。

- 1 リンパ行性転移は、リンパ流に沿って転移するものである。
- 2 口腔がんでは顎下リンパ節に転移しやすい。
- 3 乳がんは、ウィルヒョウリンパ節に転移しやすい。
- 4 リンパ行性転移は、がん腫に特徴的である。
- 5 血行性転移は、肉腫に多い。

問106 正しい組み合わせはどれか。

- 1 シスプラチン ————— アルキル化薬
- 2 ゲムシタビン ————— 白金製剤
- 3 ブレオマイシン ————— 代謝拮抗薬
- 4 シクロホスファミド ——— 微小管阻害薬
- 5 ドキソルビシン ————— トポイソメラーゼ阻害薬

問107 放射線療法の晩期副作用はどれか。

- 1 倦怠感
- 2 白内障
- 3 発赤
- 4 色素沈着
- 5 骨髄抑制

問108 がんの薬物療法の副作用で、24時間以内に生じるものはどれか。

- 1 骨髄抑制
- 2 脱毛
- 3 粘膜障害
- 4 抗体医薬による発熱
- 5 遅発性嘔吐

問109 乳がんについて、正しいのはどれか。

- 1 穿刺吸引細胞診で、乳がんのタイプ診断が可能である。
- 2 針生検では、乳がんのタイプ診断は困難である。
- 3 超音波検査に比べ、マンモグラフィは若年者の診断に有用である。
- 4 肺・肝への遠隔転移診断のためCT検査を用いる。
- 5 MRI検査は、CT検査と比べて詳細な部分は描出困難である。

問110 がん発生原因の組み合わせで、誤りはどれか。

- 1 ヘリコバクター・ピロリ感染症 —— 胃がん
- 2 メタボリックシンドローム —— 大腸がん
- 3 喫煙 —— 肺がん
- 4 高齢初産 —— 乳がん
- 5 アスベスト —— 慢性骨髄性白血病

以下余白

